

終末期を住み慣れた地域で過ごしていただくための、
せん妄状態の 理解・緩和と多職種連携
～終末期にせん妄症状があるから！と希望の在宅で過ごせなくなるのはなぜ？～

強化型在宅療養支援診療所 チーム在宅医療京都
第8回研修会のご案内
(2015年度 勇美記念財団 在宅医療研究助成事業)

日 時: 平成28年1月17日(日) <<受付13時半～>>
14:10～18:10

会 場: 京都府トレーニングセンター(京都府医師会内)

京都市中京区西ノ京東柵尾町6 TEL 075-354-6101(代表)

[お問い合わせ] 渡辺西賀茂診療所 村上 TEL 075-493-2124

学術情報提供

アボットジャパン株式会社

開会の辞

上原医院 院長 上原 春男先生

講 演 14:30～15:40

『せん妄に対するアプローチ』

岡山大学病院 精神科神経科 助教 井上 真一郎 先生

休 憩 15:40～15:50

演 習 15:50～17:05

①プレターミナル

17:05～18:00

②ターミナル

<<ファシリテーター>>

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 精神神経病態学教室

教授 山田 了士 先生

岡山大学病院 精神科神経科 助教 井上 真一郎 先生

岡山大学病院 精神科神経科 助教 小田 幸治 先生

岡山大学病院 看護部 馬場 華奈己 先生

閉会の辞

医療法人 社団 都会 渡辺西賀茂診療所

院長 渡辺 康介先生

共催 強化型在宅療養支援診療所 チーム在宅京都
アボットジャパン株式会社

強化型在宅療養支援診療所 チーム在宅京都 第8回研修会参加申込書

下記の申込書にご記入の上、FAXにてお申し込みください
尚、予定定員(80名)を超えた場合は、ご連絡させていただきます。

FAX番号075-493-5584(渡辺西賀茂診療所)

御施設名			
連絡先			
お名前		職種	

《内容》

在宅において、また入院中の患者さんにおいてもせん妄は多くみられる疾患のひとつである。

現在、在宅でも様々な疾患(癌末期・認知症・老衰・難病・慢性疾患など)の患者(利用者)が生活されるようになり、最後まで自宅での生活を希望されることも多い。

その中で、せん妄状態であると思われる患者(利用者)の今までと違う様子に、困惑し自宅での生活の継続に自信を無くしている、医療・介護多職種や家族も少なくな。また、何より、せん妄を適切に緩和してもらえない患者の苦痛は図り知れない。しかし、せん妄をパーソナリティ認知症のBPSDとしてとらえ困難事例とされているのが現実である。せん妄には、可逆的なもの、非可逆的なものがある、その対応の仕方を学ぶことが必要である。

地域包括ケアにおいて、地域で患者や家族、そして、スタッフを支えるためには、せん妄状態の早期発見・理解緩和のための研修が重要な課題のひとつと考え企画した。